日本キリスト教団

東金教会〔３９〕

2020年９月２７日 聖霊降臨節第１８主日礼拝

年度目標　《教会の民として生きる》

聖句　良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。
声をあげよ、恐れるな　イザヤ書４０章９節

【礼拝式次第】

司式	井上
奏楽	中村
受付	坂本
案内	寺内
名札係	梅田
礼拝感謝祈祷	藤田
〃　〃	薬師寺

前奏		中村
讃美歌	６１	一同
使徒信条	５６６	〃
交読文	３７	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書		司会者
〈マルコ福音書４章３０節～３４節〉		
祈祷		井上
新聖歌	３３７	一同
み言葉の伝え		中村
〈拡大する神の国〉		
讃美歌	３２４	一同
献金		
礼拝感謝		藤田
〃　〃		薬師寺
報告		井上
頌栄	５４１	一同
祝祷（派遣）		中村
後奏	新聖歌５８	聖歌隊

【集会案内】

聖研祈祷会	９月３０日(水)午後7時半～
早天祈祷会	7:00～(除・木/日/祭日)メーヤー館
聖歌隊練習	本日礼拝後
聖書輪読会	１０月４日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷	１０月４日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日よりクリスマスに向け聖歌練習が開始されます。コロナ騒動が未だ終息を見せていない状況下です。注意しつつ練習を進めて行きたいと思っております。皆様ご参加下さい。

☆来る１０月１日は教会創立１３１周年記念日です。教会創立時の熱意を思いつつこの時を過ごしましょう。

☆この時期恒例のバザーは幼稚園PTAの要望もあり、11月3日(火)内々で持つ予定です。

☆星野富広カレンダー11月15日が〆切りです

※礼拝の持ち方についてのお願い
アーメン頌の讃美は最前列に座られる方は牧師と共に講壇を向いて起立して讃美しても可です。それ以外は最後まで座ったままで讃美して下さい。

※千葉支区祈りのカレンダー（掲示板）
今週は千葉　教会(鐘　牧師)が対象教会です。お祈り下さい。

※マルコ福音書連続講解説教のCD希望者は牧師まで申出下さい。

【臨時長老会報告】

日時…2020.8.16　場所…銀杏ルーム
出席…中村牧師　森川（書記）　足立
武田　　藤本
(陪席)井上　牧師招聘委員長
議事…(日)次期牧師候補者の来東予定について
(月)牧師館補修について

【定期長老会報告】

日時…2020.9.13　場所…銀杏ルーム
出席…中村牧師　森川　（書記）　足立
武田　　藤本　安延
陪席…井上 牧師招聘委員長　梅田　青年会
議事…(日)青年会クリスマス関連催しの件…次週

【９月27日～10月３日の誕生者】

○9/30小河　姉　※互いに主に繋がる枝として祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(9/20)	17	26	４３
聖研祈祷会(9/23)	2	1	3
聖書輪読会(9/20)	2	2	4
教会学校（9/20)	5	6	１１

早天祈祷会			
日	男	女	計
9/21	1	1	2
9/22	1	1	2
9/23	1	1	2
9/25	1	1	2
9/126	1	1	2

主日礼拝献金(９/20)……３３,８６０円
教会学校献金(９/20)……４,４２０円

【今日のメッセージ】

題　〈拡大する神の国〉
聖書　マルコ福音書4:３０～３４

1・信仰の拡大

2・個人としての拡大

3・神の王国の拡大

【次週(１０月４日)礼拝式案内】

み言葉の伝え　〈待ち望む信仰、応える信仰〉
聖書　マルコ福音書４：３５～４１
交読文　３８
讃美歌　６２番　２８０番　４９４番
新聖歌　４５１番

【次週(１０月４日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え	中村
司式者	宮中
奏楽者	中里
受付者	阿波谷
案内者	中村
名札当番	藤田
礼拝感謝祈祷	中村
〃　〃	澤本
ｃｓお話し	森川
会堂清掃者	幼稚園教諭
〃　〃	
花係	小林
看板書き	澤本

【次週(１０月４日)聖餐式当番者】

配餐者……森川・藤本
祈祷者……土屋・戸波

【聖書から】

神の国は次のようなものである。人が土に種を蒔いて、夜昼、寝起きしているうちに、種は芽をだして成長するが、どうしてそうなるのか、その人は知らない。

マルコによる福音書四章二六、二七節

イエスは良く農業のたとえをもって信仰を語る。例えば葡萄樹のたとえ―神は農夫であり、イエス・キリストはその幹、私たちはその枝といったたとえ―は良く知られることである。農業が信仰の成長を語るに適したたとえと理解していたのである。そして此所でも主は種を蒔く神と蒔かれた種―神のみ言葉―の受け手である私たちの関係を語る。そこでの中心は神の言葉の成長ということである。具体的には神のみ言葉の種が私たちの心の畑に蒔かれた時、蒔かれた種は私たちの心という土中においてひとりでに成長するというのである。み言葉の種が蒔かれた時、その種はあるいは受け入れられ、あるいははじかれる。何故そうであるか私たちには分からない。分かるのはともかく私たちがその種を自分の心の内に受け入れることができたということだけである。繰り返すがそれが何故であるかわからない。ともかく根付き、信仰の道を歩むことが許されたのが私たちである。では、その信仰の種を根付かせられた私たちはそれをどう育てればよいのか。根付かせられたからには立派の花を咲かせたい。それが私たちの願いであろう。どうしたら良いか？　なかなか成長しない種、茎、穂をもどかしい思いで見つめる私たちである。立派な、豊かな実をどうしたらつけることができるか？　何もするな！と主はいわれる。成長させて下さる主を信頼し、主の御手に委ねよと主は言うのである。何も手出しのしない信頼！、それを主は私たちに求められる。へたな手出しはかえって結実をさまたげる。何もしない信頼、主は私たちにそれを求められる。その信頼をあなたは持つことができるか？、焦って自分の手で何とかしようというのは主の御心に反する。何もしない程の信頼を持つ者になりたい。

【礼拝心得】

(日)礼拝は前奏から後奏までを守る。
(月)入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
(火)遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
(水)礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
(木)各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。